

## 「蕨の会」、9名で深谷市探訪

宮原 豊(9組)

4月6日(月)、第6回「蕨の会」が開催されました。今回の目的地は深谷市で、上唐沢川の桜並木の散策、渋沢栄一記念館と生家訪問、中仙道深谷の滝澤酒造蔵の見学でした。参加者(五十音順): 上原昇(2組)、大野正広(3)、小宮山豊(2)、牧野泰晴(1)、中山正光(11)、成澤文和(蕨の会会長、4)、関賢治(2)、田村栄治(1)、宮原(9)の埼玉県居住者6名、東京、千葉、群馬から各1名の9名でした。週末の花冷えと翌火曜日からの寒の戻りに挟まれたこの日は天気も上々の花見日和で、成澤会長の用意周到な準備のもとに充実した一日を過ごすことができました。順に報告しますので少し長くなりますが、時間のある方は続きをお読みください。

いざ出発。東京駅と因縁深い深谷駅で記念の集合写真を撮りました。駅の詳細はURLを。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B7%B1%E8%B0%B7%E9%A7%85>

大宮・上尾辺りでは6、7分散っていた桜も行田・熊谷を過ぎると満開で、深谷駅近くの瀧宮(たきのみや)神社から上唐沢川沿いの桜並木は心地よい花吹雪の中の散策となりました。風に舞い川面を踊る桜花に心奪われ童心に還りました。

次に、小一時間の昼食の後、深谷市のコミュニティ・バスで渋沢栄一記念館に向かいましたが、定員11名のミニバスに9名乗ったので途中で待っている皆さんに迷惑をかけました。このバスは一時間に1本しかありません。記念館から生家(旧渋沢邸「中の家」)まで歩いて10分、そこから次の酒蔵までの交通をタクシーに変更したので余裕ができ、記念館と生家でしっかり時間を使うことができました。渋沢栄一翁の生涯を聞きながら、利根川流域の血洗島から江戸、京都、ヨーロッパ(フランス)、そして東京へと、また時代を江戸、明治、大正、昭和の日本史と世界史を俯瞰し、思いは空間と時間とを自由に駆け巡り、しばし歴史・文化・社会・経済・産業から人生論まで幅広い学習を楽しんだのでした。エデュケーショナル・ツアー、こういう旅を本当はもっと感受性の強い高校時代にやってもらえればよかったと思います。深谷市ボランティアの方々から親切に(無料で)いろいろ教えていただきました。渋沢栄一翁と記念館についてはURLを。

渋沢栄一記念館(深谷):

[http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa\\_eiichi/kinenkan.html](http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/kinenkan.html)

渋沢栄一記念財団(北区西ヶ原):

<http://www.shibusawa.or.jp/research/index.html>

「蕨の会」は、桜や紅葉観賞に歴史探訪だけでなく、その地の酒蔵を訪問するのも重要なメニューです。埼玉県内には30数か所の造り酒屋があり、日本酒生産量は全国でも4位~5位の位置を占めるそうです。圧倒的な酒どころの兵庫、京都、新潟に次いで、埼玉は秋田、愛知と肩を並べ、福島、広島、山形を凌駕します。今回訪ねた赤煉瓦の煙突の滝澤酒造の「菊泉(きくい

ずみ)」は平成 23 年から 26 年までの 4 年連続で全国新酒鑑評会の金賞を受賞したそうです。小さな酒造会社ながら立派です。4 代目当主に日本酒製造工程を懇切丁寧に案内してもらい、最後に大吟醸(1 年もの)、秘蔵酒(5 年もの)、女性に人気の「あわ雪(8%)」を試飲させてもらいました。全てなんととも上品な味でした。土産に金賞の大吟醸を買い求め大満足でした。滝澤酒造については URL を参照。

<http://homepage3.nifty.com/kikuizumi/frameset1.html>

その後、深谷駅前の居酒屋での打ち上げも大いに盛り上がりました。

私にとって深谷は同級の丸山隆平・塚田道明両君と三人で故・栗原剛君の墓参をした時以来 7 年ぶりです。その模様は 65 期 HP に丸山君が投稿しています。

<http://uedahs65.web.fc2.com/other/kurikoba0805.htm>

以下は「蕨の会」のこと。埼玉県人に「埼玉って何があるの?」と聞くと、しばし「うーん」と考えながら「何もないなあ」と自嘲気味に答えます。信州生まれの我々も故郷に帰るには、高崎線で川口・大宮・熊谷と埼玉県を斜めに横切り群馬県から碓井峠を越え軽井沢に入る訳ですが、どこからどこまでが埼玉なのか、埼玉の印象は何故か薄いです。埼玉県内の鉄道は東京に向かって縦に走る路線が多く、私自身も埼玉県内に住んでかれこれ 26 年になるのに、東京都の北縁を東西に横たわる埼玉県東端の千葉県境に近い場所に住んでいるせい、主に南方の東京を向いて生活してきました。

埼玉では以前から「さいたまカルタ」で地元の偉人、産品、自然、遺跡などを子供たちに教えていますが、「信濃の国」のように行きません。自分たちにも“いまいち”だから、他県の人ほとんど知りません。最近では埼玉県監修の漫画「埼玉のひみつ」(学研)を出すなど、自ら埼玉を見直し売り出そうとしているようです。そのような動きの前に、よく見れば埼玉にも面白いところが沢山あるよと、成澤君を中心に埼玉県居住の 65 期有志が親睦会を始めたのはよかったですと思います。それが広がって東京や千葉や群馬からも常連で参加してもらえるのですから、これは埼玉県知事表彰ものかもしれません。

「蕨の会」は、第 1 回は立ち上げの飲み会、2 回以降は中仙道蕨宿、行田・のぼうの城、大宮・氷川神社、秩父 1 泊旅行と会を重ね、今回の深谷探訪が第 6 回。私は昼の部は初参加でした。次回は群馬の世界遺産・富岡製糸場(初めて県境を越えるもの)のここは渋沢翁と縁浅からぬ関係)、さらに小江戸・川越と続くそうですが、益々充実の「蕨の会」の今後の企画が楽しみです。成澤会長をはじめ参加者の皆さん、本当にありがとうございました。

なお、文中の写真は上原君の撮影によるものです。

(2015 年 4 月 9 日 記)

ナインの勢ぞろい (@深谷駅) 前列左から宮原、成澤、上原  
後列左から中山、田村、関、大野、牧野、小宮山



上唐沢川堤の桜は満開



渋沢栄一記念館前で



深谷駅前にて打ち上げ

